

私が真理である

シリーズ～新イエス～

2025/1/12

「さよならキリスト教」が教えたこと

- 2024年、「さよならキリスト教」というテーマのもと、なぜこの国にキリスト教が根付かなかったのかーこのままいくとなくなってしまうー考えてきた
- 日本にはキリスト教の「形」は伝わったが、その本質は伝わっていない
 - 例: クリスマス・クリスチャン・聖書・結婚式…
- キリスト教の本質は「イエス・キリスト」である
 - イエス・キリストは過去の偉人ではない
 - 今も私たちと共におられる神である

シリーズ「新イエス」の目的

- イエスを**知る**

- これまでの「イエス像」を刷新し、新しい「イエス像」を構築する

- イエスを**体験する**

- 実生活の中で、共におられるイエスを体験して欲しい

- イエスの**ようになる**

- イエスを体験することによって変えられ、イエスようになることを目指す
- 個人として、そして教会全体として

今年の御言葉

イエスは言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」

ヨハネ福音書14章6節

私**が**道である

- イエス自身が神のもとに行くことのできる唯一無二の「道」である
 - 原語では定冠詞”the”が「道」の前についている
- イエスを道を指示したのではなく、ご自身が**道になられた**
 - 私たちの罪によって断たれた道を、イエスはご自分の命によって回復し、自らよみがえってそのことを証明された
- 私たちも道であるイエスを踏みしめて進む
 - この道に体重をかけて(信賴して)

わたしが**真理**である

- イエスだけが**唯一無二の真理**である

- やはり定冠詞”the”が「真理」の前についている

- 「**真理**」とは

- 「**確実な根拠によって本当であると認められたこと。ありのまま誤りなく認識されたことのあり方**」

- **誤りがないこと・矛盾がないこと・首尾一貫していること・完全であること・不変であること・普遍であること・絶対的であること…**

- **イエスは真理を説明したのではなく、ご自分が真理そのものである、と宣言された！**

- **人類史上世界のどこにもいない**

イエスが真理であるということは

イエスの言葉は真理である

- **イエスの教え(説教)**

- 山上の垂訓(マタイ5~7章)
- 最後の説教(ヨハネ福音書(13~17章))

- **イエスのたとえ話**

- 「神の国(天の国)」についてのたとえ話
- 「失われたもの」についてのたとえ話

- **イエスの会話**

- 反対者との会話
- 一対一の対話

イエスが真理であるということは

イエスの行動は真理である

- 罪人たちの友となる

- 神に見捨てられた人はいない

- 弟子を育てる

- ご自分の働きを人間の手にゆだねる

- 奇跡や癒し

- 苦しみや痛みを放っておかれない

- 人類の罪の身代わりとなって神の裁きを受ける

- 死さえも真理である

本物の「自由人」イエス

「わたしの言葉にとどまるならば、あなたたちは本当にわたしの弟子である。あなたたちは真理を知り、真理はあなたたちを自由にする。」ヨハネ福音書8:31-32

•欲望からの自由

•「だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思い悩むな。」マタイ6:31

•家族からの自由

•「そして、弟子たちの方を指して言われた。『見なさい。ここにわたしの母、わたしの兄弟がいる。だれでも、わたしの天の父の御心を行う人が、わたしの兄弟、姉妹、また母である。』」12:49-50

• お金からの自由

- 「さて、イエスは目を上げ弟子たちを見て言われた。『貧しい人々は、幸いである、／＼神の国はあなたがたのものである。』」ルカ6:20

• 病気(病むこと)からの自由

- 「さて、重い皮膚病を患っている人が、イエスのところに来てひざまずいて願い、『御心ならば、わたしを清くすることがおできになります』と言った。イエスが深く憐れんで、**手を差し伸べてその人に触れ**、『よろしい。清くなれ』と言われると…」マルコ1:40-41

• 人の評価からの自由

- 「ののしられてもののしり返さず、苦しめられても人を脅さず、正しくお裁きになる方にお任せになりました。」ペトロの手紙一2:23

自由であるイエスの不自由

- **そもそも神であられた方が人間になられた**
 - 「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。」フィリピ[°]2:6-7
- **私たちを救うために十字架の死という究極の不自由を引き受けられた**
 - 「人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」7-8

今年の御言葉

イエスは言われた。

「わたしが道であり、**わたしが**
真理であり、命である。わたしを
通らなければ、だれも父のもとに
行くことができない。」

ヨハネ福音書14章6節